

e-drive adventure

星野リゾート リゾナーレ 西表島 & 星野リゾート リゾナーレ 小浜島 では、この度、Volkswagenの電気自動車だからこそ出来る新しい離島旅のスタイルをご提案いたします。「e-up!」に無料試乗頂き、離島の島々に響く「自然が奏でる音」を探しに行く特別宿泊プランが1日1組期間限定で登場。「e-up!」の試乗をきっかけに一般的な八重山の周遊旅では味わえない自分だけの新たな旅をデザインしてください。

自然が奏でる音を探して

電動自動車だからこそ気づくことのできる魅力。
自然が奏でる「音楽」をめぐる自然の旅に、e-up!に乗って出かけませんか。



星野リゾート リゾナーレ 小浜島

星野リゾート リゾナーレ 西表島



小浜島は、沖縄本島から約410kmの南西、八重山諸島の中央に位置します。リゾートコンセプトは「真南風(まはえ)ロマンティック」。島の特徴を活かした沖縄唯一のロマンティックな滞在をお約束します。

期間：～2015年4月24日(金)
部屋タイプ：リゾナーレツイン
宿泊料金：1名16,500円～(1泊2食, ご滞在中無料試乗)
オプション：幻の島シュノーケリング(半日コース)
1名9,000円～



特別天然記念物のイリオモテヤマネコで知られる西表島は、日本最大のジャングルを有します。稀少な大自然をより近く感じながら、ラグジュアリーな「ジャングルリゾート」をお楽しみ下さい。

期間：～2015年4月24日(金)
部屋タイプ：スーペリアツインルーム
宿泊料金：1名13,500円～(1泊2食, ご滞在中無料試乗)
オプション：朝のジャングルリフレッシュ
1名2,200円～

フォルクスワーゲン × 星野リゾート

e-drive adventure

西表島ガイド

自然が奏でる音を探して

イリオモテヤマネコやカンムリワシ
が暮らす自然豊かな島、西表島。
亜熱帯のジャングルに分け入り、
濃密な生き物の息吹を感じよう。



produced by BF-PAI

豊かな水系に、
多量の天然記念物が息づく


西表島

八重山群島最大の島、西表島。無数の川が流れ、美しい滝があり、下流にはマンダロープ林が広がる。ドライブしながら、野生動物の宝庫の一端に触れてみよう。

島データ

面積 / 289.30km²
周囲 / 130km

特別天然記念物のイリオモチヤマネコ、カンムリワシなど珍しい生物が生息。島の面積の約80%が原生林だ。




水牛車で渡る
植物の楽園・由布島
→由布島は周囲2.15km、潮深1.5mで島全体が亜熱帯植物園になっている。西表島から約400m、水牛の鳴き声とおじいさんの三線をBGMに水牛車で渡る。

島の南に位置する大原地区から西の白浜を結ぶ県道215号線は全長約53km。北部にある「星野リゾート リソナーレ 西表島」から1日で1往復すると、なるとのんびり遊ぶ時間が少なくなるので、ホテルを中心に、東は由布島から西は道の終点、白浜まで、島の北半分を回るドライブコースをおすすめする。まずはスタート地点となる由布島に向かおう。ここは水牛車で知られるが、朝日の絶景ポイントでもある。

ントでもある。大見蘭ロードパークでマンダロープ林の散策を楽しんだり、船海中道路を渡り、島の西部へ。星砂の浜で砂遊びをし、浦内川の展望台からマンダロープ林を俯瞰する。夕方になると、西側の海岸は夕日の絶好ポイントになる。そしてこの島は、日本有数の野生動物の楽園。道路からも特別天然記念物のカンムリワシほか、様々な生物が見られるので、注意して走ろう。



船海中道路より、ピナイサーラの滝を望む
1976年に開通し、島の東部と西部を結んだ船海中道路。山に向かつて左手にはピナイサーラの滝が、右手には天然記念物のニッパヤシ群落がある。



雄大な浦内川の流れとマンダロープ野生
→浦内川は沖縄県最長の川で、ジャングルクルーズが楽しめる。展望台からは一面に広がるマンダロープ林が見られる。



波音を聞きながら、星砂の浜を散策
→星の形をした星砂が見つかるビーチ。砂を手にとつて、探してみよう。また、この浜は波が少ないので、シュノーケリングにも最適。

道路の港終わりにある白浜港でのんびり



↑沖縄県で最も長い総延長約53kmの県道215号線白浜南見線の終点。クルマはこの先に進めないの、港の駐車場まで折り返そう。



大見蘭ロードパークで清流の音を聴く
→駐車場の手前がマンダロープ散策路。左手から海を望む展望台と、親子で水遊びを楽しめる大見蘭川に出られる。

サハ崎

赤崎

放牧場

県指定有形文化財 新盛家住宅

白浜

祖納岬

ニッパヤシ群落

伊武田崎

大見蘭ロードパーク

金山

古見岳

野原崎

由布太陽牧場

由布島

e-drive adventure

すてきなこの自然環境を未来に残すために

エコ&クリーンなクルマを選ぶ

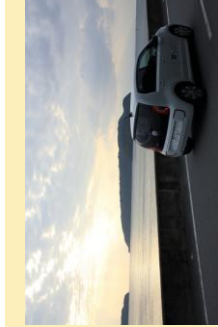
→「星野リゾート リゾナーレ 西表島」の敷地内に設置されている充電設備。充電は200V。↑クルマのプロントボンネット内に充電ポートがある。充電作業はホテルスタッフが行なう。「星野リゾート リゾナーレ 小浜島」にも同様の設備があり、それぞれ「e-up!」が2台、待機している。



←シンプルで見やすい設計のインパネ。3連メーターの中央がスピード計で、その下部に走行可能距離の表示がある。右側に電気残量を、左が走行時の充電状態を表示する。ナビゲーションはオプションだ。



↑西表島の船泊海中道路で、水平線を背景に記念撮影。海の色は浅瀬がスカイブルー、その先が濃い青と、くっきりと2色に分かれる。



フォルクスワーゲン e-up!

フォルクスワーゲンの乗用車の中で一番小さな「e-up!」をEV化したのが「Te-up!」だ。ポデスターサイズは軽自動車よりひと回り大きく、大人4名がゆったり乗れる。車体後部の荷室は床が上下する段階に設定でき、収納も便利。今年2月から受注開始。

●フォルクスワーゲン カスタマーセンター
☎0120-993-199 www.volkswagen.co.jp

- 主要諸元：全長×全幅×全高：3545×1650×1520mm ホールベース：2420mm 車両重量：1160kg 乗車定員：4名 最高出力：60kW、最大トルク：210Nm 最高速度：130km/h 車両本体価格：¥3,669,000 (税込み)

航続距離の心配も不要

EVというと、必ず話題になるのが航続可能距離と給電、充電のこと。だが、心配は無用。「e-up!」は満充電の状態です。メーターに160〜170km走行可能と表示される。エアコンなどを使用すると、走行可能距離は140〜150kmになるが、小浜島なら全島を走り回っても50〜60km、西表島も島の北半分、由布島から日浜港まで走って70〜80kmなので、途中

で充電する必要はないはずだ。また「e-up!」はブレーキをかけた後、下り坂でアクセルを離すと、自動的に充電する回生ブレーキを採用。充電中は、走りながらも走行距離が伸びる仕組みだ。さらにシフトレバーの操作で走行中の充電量を多くするBモードの設定があり、電気使用量を調節できるECOスイッチも装備されている。「e-up!」は、自然豊かな島を走るにふさわしいエコ&クリーンなクルマなのだ。

電気自動車(EV)には、当たり前だがエンジンはない。だから、エンジンのような音がない。ガソリンを燃焼させないから排出ガスもない。聞こえてくるのはモーターの音と、タイヤが路面を駆けるロードノイズだけ。驚くほど静かなのだ。せつかく南の島に来ただけから、クルマの窓を開けて走ってみよう。海岸沿いの道を走るときに、波の音が聞こえてくる。林の中を通ると、木々を揺らす風の音や、様々な鳥の鳴き声、川のせせらぎが聞こえてくる。EVなら環境に負荷をかけず、逆に自然の音に包まれながら、ドライブできるのだ。

EVの力強い走りも体感

さらに走行性能も抜群にいい。エンジンと違い、モーターは電流が流れた瞬間に最大トル

クを発生するので、アクセルを踏んだ瞬間に加速する。そのため、体感的に「速い」と感じるのだ。

一見平坦に見える小浜島でも意外に坂道は多い。だが、のぼり坂はEVの得意分野だ。4人乗車でも軽々とのぼる。アツブタウムの激しい西表島でも、パワー不足のストレスなどまったく感じることなく快適に走る。静かさからは想像できない発進時や加速時のスムーズさ、力強さをぜひ体感してほしい。



↑西表島東北部の森林に立つ黒猪。実際は動物がなくて飛び出してくるので、ゆっくりに注意して走ろう。

自然豊かな島を電気自動車で冒険しよう。騒音も排出ガスもないクルマだからこそ、見えてくる島の魅力がきっとある。あわせて次世代のクルマの魅力も発見しよう。

女性のリピーターが多い
隠れたリゾートアイランド

小浜島

信号や自販機など、都会を思いださせるものはほとんどない。白い砂浜に青い空と海、ゴルフ場とスパ施設を有するリゾートでゆったり「島時間」を楽しもう。

島データ

面積 / 7.84km²
周長 / 16.57km
八重山諸島のほぼ中央に位置する。俗化を受け、昔ながらの集落とサトウキビ畑が広がる。



海人公園のマンタ展望台の眺望

↑最西端の細崎に眺望する海人公園。展望台とベンチと清り台のほかにも何もない。細崎の入り口に西茂島を眺めるビーチがある。

小浜島は自転車でも1周できる小さな島だ。その東端に「星野リゾート リゾナーレ 小浜島」は位置する。自然の音を探すドライブは島の南側から始めて西端に至り、北上して時計回りで戻ってくるのがモデルコースとなる。小浜港から島の中心部に伸びる県道210号小浜港線がメインの道路だ。島を周回する道路は存在しないが、ほとんどの道が舗装されているため、小道をつないで思いどおりの場所に行けるだろう。

島の南側を走ると左手に水平線が見えてくる。そして窓を開ければ波の音が、サトウキビが風に揺られる音も聞こえてくる。島西端の細崎のビーチでは、砂を踏みしめる音を楽しもう。島の北側には高さ99mの大岳展望台がある。その隣にあって駐車場から5分で登れる西大岳展望台が穴場だ。朝の連ドラ『ちゅらさん』のロケ地「こはぐら荘」やシュガーロードを走って徐々に南下し、ホテルへ戻ろう。

伝統的な古民家「こはぐら荘」

→朝の連ドラ『ちゅらさん』のロケ地。こはぐら荘。撮影当時から住居として使われていた現役の建物。見字は外観のみとなる。



サトウキビ畑の中を走る道。両側には海の眺望が広がる。

石長田海岸に広がるマンダングラープ



↑集落から石長田海岸まではクルマで降りられ、駐車場もある。そのそばに展望台があり、マンダングラープ林の散策も可能だ。

アカヤ崎

舟崎

小浜港旅客待合所

小浜港

カントウラ石

竹富町立小浜中

小浜島

シュガーロード

はいむるふし

ビルマ崎

西大岳展望台から四方の海を望む
→大岳展望台よりアブリローチが家な西大岳展望台。北側に嘉弥真島、東に竹富島、西に細崎や西表島、南に黒島が望める。



トウモロコシで水辺を歩く

↑小浜島では数少ない砂浜のビーチ。道路から浜物が近いので、海遊びの荷物を下ろすのに便利。浅い海を素足で歩いて水の音、砂の音を楽しもう。



長さ1kmの一本道 シュガーロード

↑サトウキビ畑の中を走る一本道シュガーロードで、畑を抜ける風の音を聞こう。道に起伏があり、「le-up」の走りの本領も味わえる。



星野リゾート リゾナーレ 小浜島

N ↑

フォルクスワーゲン × 星野リゾート

e-drive adventure

小浜島ガイド

自然が奏でる音を探して

のんびりくつろげる小さな島、小浜島。どこからでも海が眺められ、風の音と波の音がこだまする。夜の静寂の中、星空も楽しみたい。

星野リゾート
リゾート 小浜島



produced by BE-PAL